

港湾春闘 12日の日曜スト回避

2017 港湾春闘は9日午後、港運中央労使による第3回中央団体交渉が東京都内で開かれた。組合側が12日の日曜24時間ストライキを通告する中での交渉だったが、スト延期が決定。次回交渉日は23日と決まった。

全国港湾労働組合連合会（全国港湾）・全日本港湾運輸労働組合同盟（港運同盟）の港運中央労組は1日付で、日本港運協会（日港協）に対して12日の日曜24時間ストライキを正式通告していた。通告されたスト実施内容は、12日始業時から翌日始業時までの実力行使（就労拒否・荷役拒否、抜港船などスト破り行為への抗議行動）で、対象は全港・全職種。

9日の第3回中央団体交渉では、労使の交渉が断続的に開催され、12日のスト回避（延期）が決まった。延期後のスト実施日は決まっていないが、次回交渉日の23日以降の実施を、組合側が13日以降

に再通告する見通し。

今年の港湾春闘は、定航業界の経営環境が大きく変動するなか、組合側が今年の春闘の最重要課題に「職域の確保」を位置付け、攻勢を強めている。